



## 住民自治のチカラ コロナ禍でも語り 継ぎたい・伝えたい

○よりい民話研究会  
2005年に設立。寄居の民話を掘り起こし、活動。  
現在会員は10名。  
月1回の定例会(第3水)に図書館で活動しています。



子ども達の喜ぶ顔が嬉しいですね。  
相馬栄子さん (折原)

隣の美里町には早くから民話集があります。寄居も頑張らなくてはね。  
町田愛子さん (用土)

とてもいい活動だなと思ひ参加しました。  
松本比佐子さん (折原)

出前講座のときはかすりの絆でおじゃまします。



寄居の民話は市街地の外にたくさんあります。  
「民話語り『きいてみい』よりい民話研究会 代表 久代恵美子さん(鉢形)



町立図書館で借りられます

### ギカイの視点

子どもたちの笑顔が原動力  
コロナ禍で「対面でのコミュニケーション」が減った反面、1人や家族だけで過ごす「おうち時間」が増え、それぞれが自身の内面と向き合う時間が増えたといわれています。いつ終わるかわからない漠然とした不安の中で、心にポツと小さな火が灯るような体験を誰もが求めています。コロナ禍だからこそ語り継ぎたい、伝えたい思い。住民自治の活動の原動力がここにありま

### ギカイ議論 Keyword 町立図書館の利用状況

問 図書館の利用状況は。  
答 家族連れでの利用が増えています。貸出件数はコロナ前までは戻っていませんが、令和3年度は前年度に比べ5万4568件の増。町民1人当たりの貸出し数は令和2年度で県内町村中2位(63市町村中では4位)と利用率は高い状況です。  
問 若い世代に向けた図書購入の選定をしているか。  
答 電子図書を含めた図書購入に関しては、あらゆる世代の興味やニーズを考慮しています。

見る・知るよりい Withコロナでも人が集う場・町立図書館

令和3年度の利用状況は? ※( )内は前年度比

入館者数 6万1481人 (+1万1487人)

貸出人数 4万1887人 (+5112人)

貸出点数 ※電子図書含む 25万4872点 (← 令和2年度 県内63市町村中 第4位 町村では第2位)

(+5万4568点)

温もりのある布絵本はいいですね。優しい子に育てたいです。(取材時、寄居町立図書館にて)



堀口楓真さん・菜未さん・桜功ちゃん (末野)

「歴史はあるのに民話がない」なんて...  
「手作りの温かさ」伝えたいですね

実際に布に触れることで  
活動のきっかけは。  
鈴木:他市から引っ越してきて、頼れる人がいなかった出産子育て期。「赤ちゃんと一緒に活動できますよ」と言われ、子連れで参加したのがきっかけ。その時の娘がもう15歳です。デジタル化が進みスマホで本が読める時代ですが、布絵本は、実際に布に触れることで、一瞬で作者の世界に飛び込んでいくことができます。コロナ禍でも活動を続けてきました。寄居町のお子さんやパパママ達に、「手作りの温かさ」伝えたいです。

○ひだまり文庫(布絵本)  
ことしで設立20年。「のんびり・楽しく・いつまでも」を合言葉に40代~80代の仲間活動。布絵本、布おもちゃを制作。布絵本を図書館へ寄贈しています。

退職してから寄居へ引っ越してきました。人と人がつながれる「ものづくり」が大好きです。  
(後列左) 野口好子さん(男衾)

孫に作ってあげたくて始めました。真心を伝えたいですね。  
(後列右) 大平定代さん(折原)

鶴ヶ島市に住んでいるときからずっと、好きだから続けてきました。今は寄居で楽しみたいです。  
(前列右) 窪田 秀さん(男衾)



代表 ひだまり文庫 鈴木真澄さん(男衾)

